

1 家庭での環境学習等に役立つ情報の収集・発信・・・本編P17													
・地域の特性を活かした体験活動や世代に応じた環境学習、世代間をつなぐ環境学習等の場や機会についての情報収集・発信 ・家庭での環境学習に役立つ環境学習の場や機会の情報収集・発信 ・日々の生活での環境に配慮した取組事例や、安全・安心な生活に必要な知識・情報の発信 ・地域の抱える環境問題と、その解決のために各家庭でできること、さらに各家庭での取組の結果、県全体でどんな効果が期待できるかといった情報の発信													
番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
1	環境局	環境政策課	SDGs推進フェア	R2	日程:R3.2.5(金)・6(土)(3.7まで視聴可) 開催方式:オンライン 視聴者数:21,857人	「SDGs AICHI EXPO 2021」の開催 開催日:2021年10月22,23日 来場者:10,000人	SDGsに取り組む多様な主体が一堂に会し、それぞれの取組を発信し、各主体間のコミュニケーション、連携・ネットワーク化を促進する「SDGs AICHI EXPO 2021」を開催するとともに、広く県民にSDGsの理解を促し、県内全域へSDGsを普及・浸透していくことにより、2030年のSDGs達成に向けた機運を醸成する。	◎	○	○	○	○	1~17
2	環境局	企画情報部	あいち環境学習プラザにおける展示等	H19	プラザ来館者数:3,127名	継続実施	公共施設で全国トップクラスのZEB(ゼブ)を支える新エネ・省エネ設備や本物の環境分析現場の見学、ハンズオン展示などを行う。	○	◎				4 6 7 11 12 13 14 15 17
3	環境局	企画情報部	あいちエコアクションウェブサイトの運営	H26	サイトアクセス件数:11,000件 日記投稿件数:24通	-	-		◎		○		4 6 7 11 12 13 14 15
4	環境局	環境活動推進課	エコアクション推進フェアの開催	H26	日程:R2.11.28(土) 場所:尾張一宮駅前ビル(i-ビル)3Fシンビックテラス 参加者数:586名	日程:R3.11.7(日) 場所:太田川駅前イベント広場「大屋根広場」(東海市)	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、エコアクション推進フェアを開催する。		◎				4 6 7 11 12 13 14 15
5	環境局	環境活動推進課	環境情報システム	H17	-	継続実施	県が実施した環境調査事業等のデータを収集・整理してインターネットにより発信する。		◎	○			3 4 13 14 15
6	環境局	環境活動推進課	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	H14	キャンペーンの実施	店舗イベント開催回数:1回	東海三県一市の広域連携で、事業者・団体・行政が協働して、詰め替え商品、環境ラベル商品、地産地消等の環境配慮型商品の啓発キャンペーンを実施し、グリーン購入の普及と定着を図る。		○	○	◎		9 12 13 14 15 17
7	環境局	環境活動推進課	化学物質セミナー	H14	・事業者向けセミナー 開催日:12月15日(月)、来場者数:304名 ・県民向けセミナー 開催日:12月18日(火)、来場者数:48名	・事業者向けセミナー 開催日未定 ・県民向けセミナー 開催日未定	化学物質の適正な管理を一層推進するための事業者向けセミナーや、化学物質による暮らしや健康への影響などについて理解を深めるための県民向けセミナーを開催する。		◎		○		3 4 6 12
8	環境局	地球温暖化対策課	EV・PHV・FCV普及加速事業	R1	あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン キックオフフォーラムの開催 参加者:209名	フォーラムの開催	EV・PHV・FCVの普及を加速させるため、R2年度に策定した「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」の推進をテーマとしたフォーラムを開催する。		○	◎	○		4 7 9 11 12 13
9	環境局	地球温暖化対策課	夏休み！おうちでエコアップ大作戦の実施	R2	各学校の夏休み期間に実施 参加数:2,867家族	各学校の夏休み期間に実施	家族と一緒に過ごす時間が長い夏休みを利用して県内の小学生とその家族が省エネ活動をはじめとした環境配慮項目が記載されたチェックシートを利用しながら、行動の実践に取り組む「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施する。		○	○	◎		4 7 13
10	環境局	地球温暖化対策課	低炭素水素シンポジウム・視察会の開催	R2	シンポジウム開催:1回	-	-		◎			○	4 7 11 12 13
11	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾大感謝祭	H26	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	10月24日(日)開催	三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高める「三河湾環境再生プロジェクト」のさらなる推進に向け、多くの人々に三河湾にもっと関心をもってもらうことを目的に「三河湾大感謝祭」を開催する。	◎	○				6 14 15 17
12	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	油ヶ淵電子図書館	H17	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信した。	継続実施	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信する。		◎	○		○	6 14 15 17
13	環境局	自然環境課	生物多様性セミナー	H23	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	-	-		◎	○			4 14 15 17
14	環境局	資源循環推進課	ゴミキチ・パコロ劇場	H17	インターネットを使ってゲームで遊びながら、資源循環について学ぶホームページ。 【資源循環情報システムのアクセス数2,519件/月】	-	-			◎	○		4 7 9 11 12 13
15	環境局	資源循環推進課	資源循環学習	R3	-	【あいち資源循環ナビのアクセス数2,200件/月】	小学生から大人までを対象とした資源循環について学ぶホームページ。モノの生産や廃棄、リサイクルといった学習ページのほか、工場見学動画や、クイズなどを掲載する。		◎	○			4 7 9 11 12 13
16	環境局	資源循環推進課	ごみゼロ社会推進あいち県民会議	H5	ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等112団体(令和3年5月現在)で構成 ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催 令和2年11月5日 オアシス21 銀河の広場 参加者延べ約400名 レジ袋削減取組店制度の運用 ワンウェイ(使い捨て)プラスチック削減取組表彰制度の創設	ごみゼロ社会推進あいち県民大会を11月開催予定(今年度は食品ロス削減イベントと同時開催予定)	県民、事業者、行政が一体となってごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用を促進することを目的に設立された「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が主体となり、普及啓発、情報収集・提供や調査・研究を行う。(ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等で構成) ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催、レジ袋削減取組店制度の運用 ワンウェイ(使い捨て)プラスチック削減取組表彰制度の運用		◎	○			12 17
17	環境局	資源循環推進課	海岸漂着物等に関する環境学習	H30	学校におけるモデル的な環境学習の実施、イベントへのブース出展(三河湾大感謝祭、Let's エコアクション in AICHI) ※新型コロナウイルスの影響で中止	イベントへのブース出展 啓発資料の作成	海岸廃棄物等に係る啓発事業として、イベントへのブース出展を行う。また、海洋ごみ発生抑制に関する啓発資料を作成する。		◎				12 14
18	環境局	資源循環推進課	食品ロス削減推進事業	H30	食品ロスイベントの開催。 令和2年11月5日 オアシス21 銀河の広場 参加者延べ約400名	食品ロス削減イベントの開催:1回 イベントへのブース出展:2回	食品ロス削減に係る啓発事業として、食品ロス削減イベントを開催する。また、「食品ロス削減環境学習プログラム」を用いた小学校でのモデル授業やイベントでのブース出展を行う。		◎	○		○	12

24事業

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
19	農業水産局	食育消費流通課	地産地消推進事業費	H17	・ネットワークの拡大 新規:55会員 ・フェイスブックによる情報発信:81記事	・ネットワークの拡大 ・フェイスブックによる情報発信等	地産地消を推進する「いともあいち運動」を展開し、消費者と生産者の「顔の見える関係」を構築するため、生産者団体、食品関連事業者、NPO、消費者団体及び食生活改善関係者等と幅広いネットワークを形成し、協働活動の推進、情報発信等を行う。	○	◎				12
20	農業水産局	食育消費流通課	無駄や廃棄の少ない調理講習会	R2	・聴講型 2021年1月25日(名古屋市)参加者29名 ・実習型 2021年1月28日(刈谷市)参加者19名	-	-		○		◎		12
21	農林基盤局	農地計画課	あいちの農業用水展	H3	開催日:令和2年8月1日(土)～7日(金)	開催日:令和3年8月1日(日)～令和3年8月9日(月・祝)	農家や先人の努力の積み重ねにより守り育まれてきた農業用水を中心に、水の重要性について広く県民の関心と理解を深めるため、農業用水の歴史や変遷等をパネル展示により紹介する。	○	◎				2 6 7
22	建設局	河川課	みずから守るプログラム	H23	【手づくりハザードマップ】3地区 【大雨行動訓練】0地区	継続実施	水害に直面した際に県民が適切な行動に移せるよう、県民目線の情報提供と、県民の自発的な行動を育む地域協働型の取組を推進する。		○		◎		11 13
23	都市・交通局	交通対策課	あいちエコ モビリティ ライフ推進事業	H20	・「エコモビの日」PR活動:2回	・市町村等と連携した実践促進事業 ・「エコモビの日」PR活動 ・エコモビリティライブ講演会	クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきく使い分けるライフスタイルである「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)の普及・定着を図るため、県内各地において「エコモビ」の実践に関する普及啓発活動などを行う。		○		◎		11 13
24	都市・交通局	交通対策課	高度道路交通システム推進費	H10	・大学セミナー:6回	・大学セミナー ・あいちITS産・学・行政交流会	ITS(高度道路交通システム)を活用した安全、快適で環境にやさしい地域づくりを目指し、愛知県ITS推進協議会(事務局:愛知県交通対策課)を中心に、産・学・行政が連携してITSの普及・啓発活動や導入促進に向けた各種取組を行う。				◎	○	9 11 13

2 体験等を通して気軽に楽しく学び合える機会と場の確保・・・本編P17

- ・県内環境学習施設等の連携の充実
- ・生活との関わりなどについて、体験等を通し、実感を伴って学べる機会の拡充
- ・世代間の学び合い・育ち合いに発展する環境学習等の充実

20事業

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
25	環境局	企画情報部	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座	H17	講座回数:89回 参加者数:2,221名	継続実施	社会見学に対応した環境学習や、夏休み等における環境学習講座及びイベントを開催する。		◎	○			4 6 7 11 12 13 14 15 17
26	環境局	環境活動推進課	AEL ネットを活用したエコアクションの推進	H26	期間:R2.9～R3.2 応募総数:2,644名 参加者数:22,218名	期間:R3.6～R4.2	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、AEL ネット環境学習スタンプラリーの開催をする。		◎				4 6 7 11 12 13 14 15 17
27	環境局	地球温暖化対策課	ブース出展事業費	H20	出展回数:3回	出展回数22回	市町村のイベント等に出展しパネルや体験型実験装置などを用いてエコライフの実践に関する普及啓発を行う。		◎	○	○		4 7 13
28	環境局	地球温暖化対策課	エコドライブ講習会	H26	開催回数:1回 参加者数:計4名	エコドライブ講習会の開催(3回)	エコドライブの方法や効果に関する講義の前後に、燃費計とデータ記録装置を付けた実車(ライトバン)を運転し、燃費の変化を比較・実感することにより、エコドライブの具体的な方法や効果を体験的に学ぶ講習会の実施(JAF共催)	○	○		◎		3 4 7 8 11 12 13
29	環境局	地球温暖化対策課	次世代自動車普及促進事業	H21	イベント出展0回	継続実施	低炭素社会づくりの推進のため、自動車から排出されるCO2の削減効果が高いEV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド自動車)の展示・試乗会等を開催し、普及啓発を行う。	○	◎			○	4 7 9 11 12 13
30	環境局	地球温暖化対策課	先進環境対応公用車導入費(一部)	H17	イベント出展1回	継続実施	燃料電池自動車(FCV)への理解を深めていただくため、県内各地の環境学習などのイベント等でFCVの特徴を紹介するとともに、展示等を行う。	○	◎				4 7 9 11 12 13
31	環境局	水大気環境課	流域モニタリング一斉調査	H21	参加団体数:82団体 延べ参加人数:331名 延べ調査地点:107地点	7月1日から9月末まで実施	河川やため池など身近な水環境に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」を活用し、調査を実施する。	○	◎	○		○	6 14 15
32	環境局	水大気環境課	水循環再生地域協議会の開催	H18	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行った。	継続実施	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行う。				◎	○	6 14 15
33	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾環境再生体験会	H28	8月2日(日)開催 会場:西尾市東幡豆海岸及び前島 参加人数:27名	8月22日(日)開催	干潟の生きもの観察や干潟の保全体験により、干潟の役割や大切さを知り、三河湾の環境再生への関心を高める。	◎	○				6 14 15
34	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	油ヶ淵流域水環境モニタリング	H17	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やバックテストによるCOD濃度などの調査を行い、生活排水等による水の汚れを把握した。	継続実施	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握する。	○	◎				6 15 17
35	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	水質パトロール隊事業	H10	参加人数:43グループ、1226名	募集:4月23日(金)～8月31日(火) 活動実施・レポート提出:10月29日(金)まで	県内の小中学生を対象に、簡易水質測定試薬や調査マニュアルを送付し、身近な水辺の水質や生活排水との関わり、生きものを調査した上で、活動の様子や調査結果をレポートにまとめて提出してもらう。提出されたレポートを県で審査し、特に優れた活動を行ったグループを表彰する。	○	◎	○		○	6 14 15
36	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	サポーター向け講座	H31	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブのサポーターを対象に講座を2回開催した。 ①聖崎公園パーベキュー場及び聖崎公園周辺海岸:令和2年9月19日(土)24名 ②生命の海科学館:令和2年12月20日(日)23名	2回開催予定 ①9月5日(日) ②未定	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブのサポーターの三河湾への関心・理解をより高め、サポーターの三河湾の環境保全活動への参加を促すため、「サポーター向け講座」を開催する。		◎			○	6 14 15 17

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
37	環境局	自然環境課	自然公園魅力発信強化事業	H30	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間51回普及啓発資料の作成	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間52回(予定)普及啓発資料の作成	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施や、普及啓発資料の作成を通して、自然環境に関する知識や自然保護思想の普及啓発を行う。	◎						15
38	福祉局	子育て支援課(指定管理者)	自然物を使った工作や自然観察会の実施	-	愛知こどもの国の指定管理者が、園内の自然物(小枝や枝の輪切り、木の実)を利用した工作を実施した。また、外部団体と連携して、園内の生き物や昆虫観察会を行った。また、さらに、AELネットにも参加し環境学習のきっかけを提供している。(令和3年3月末現在 参加者数:1,153名)	①9月(1カ月間)/わくわく工房にて ②夏から秋にかけて/園内にて ③春から冬にかけて/園内にて ④AELネット実施期間中参加	①園内の自然物(小枝や木の実)や廃材を利用した工作を9月に実施予定 ②外部団体と連携した園内の生き物や昆虫の観察会を年3回実施予定 ③SDGsの理念を取り入れた環境学習を年4回実施予定 ④AELネットに参加	◎					○	14 15
39	農業水産局	水産課	あいち海の恵み普及啓発事業	H24	1 新型コロナウイルスの影響によりイベントは中止。代替としてSNSによる情報発信を増やした。 SNS・Webページによる情報発信 130回更新 2 出前授業 9箇所 344名	教材の配布学校数969校	1 県産水産物知名度向上対策事業 SNS、雑誌、各種行事等における県産水産物のPR発信を行う 2 魚食の伝道師派遣事業 若い世代にあいちの水産物への関心を持たせるため、小学生等を対象として、漁業者や県職員による、あいちの水産物および水産業の出前授業を行い、海の恵みと海の大切さを知ってもらう。 3 若い世代への県産水産物普及啓発事業 子供の時から県産水産物への親しみ、将来の消費者として地元の魚を購入してもらえよう、県内全小学校に水産業の普及啓発用の教材を配布する。	○	◎					14
40	農林基盤局	林務課(指定管理者)	自然観察会の実施	H17	-	継続実施	愛知県森林公園及び愛知県民の森の指定管理者が、「自然ウォッチング」「野の花めぐり」などを実施する。	◎						3 4 15
41	農林基盤局	森林保全課	あいち海上の森保全活用事業	H18	森林整備等活動:実施回数12回 参加者数121名 参加体験学習:実施回数10回 参加者数106名	森林整備等活動:実施回数未定 参加体験学習:実施回数10回	海上の森を将来にわたり保全・活用するために、NPO、企業、学校等と協働・連携して森林整備活動や森林や里山に関する参加体験学習等を実施する。	○					◎	15
42	農林基盤局	森林保全課 森と緑づくり推進室	森と緑づくり体感ツアーの実施【あいち森と緑づくり事業】	H20	体感イベント:1回開催 参加者40名	バスツアー(又は体感イベント):1回	森や緑の現状を県民に直接、見て、体験してもらい、森と緑づくりへの理解を深めてもらうためのバスツアーを実施する。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体感イベントに変更の場合あり)	○	◎					13 15
43	都市・交通局	公園緑地課(指定管理者)	自然観察会の実施	H17	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施した。	継続実施	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施する。	◎						11 15
44	都市・交通局	公園緑地課	油ヶ淵水辺公園整備事業	H19	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施した。	継続実施	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施する。	◎	○					11 15

3 学校における環境教育の促進(教育)・・・本編P22

- ・発達段階に応じた環境教育の実施
- ・環境教育に必要な人材や場、教材とのマッチングの仕組みの提供
- ・県内環境学習施設等のネットワークを活かした、環境教育の機会の拡充と質の向上
- ・効果的な環境教育を実施するための教員研修の実施
- ・環境教育の参考となる、地域資源の活用事例や、学び合い・育ち合いに発展した事例についての情報提供
- ・環境教育に活用できるデータや情報の、学校が使いやすい形での発信(環境に関するデータ、発達段階に応じた体験的学習の場や教材、専門的な人材、財政的支援に関する情報など)
- ・表彰・コンクール等による、優れた環境教育の取組への支援

10事業

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
45	教育委員会事務局	教育企画課	あいちの学校連携ネット	H23	情報更新依頼先 高専 1 四大 50 短大 19 市町村教委 53	H30事業実施に同じ	大学と県教育委員が連携することにより、高校生に大学の教育に触れる機会を提供したり、大学生が小・中学校の学校現場で子どもたちの学びを支援したりする取組を推進するためのマッチングサイトを運営する。				○	◎		4
46	教育委員会事務局	生涯学習課	愛知県青年講座	S49	青年講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。	-	-	◎			○			4 11 15 17
47	教育委員会事務局	生涯学習課	ユネスコスクール活性化事業	H27	ユネスコスクール交流会の実施【令和2年度事業実績】 分科会等参加者:205名	ユネスコスクール交流会の実施【令和3年度事業予定】 分科会等参加者:200名	ユネスコスクールの活動を継続的に支援し、ESDの活動拠点としてのユネスコスクールの発展に寄与するため、関係機関から講師等の派遣及び研修会への教員派遣を行う。また、県内のユネスコスクール活動の充実と、各校の連携促進、ネットワークの構築を図りユネスコスクールの全県的な広がりを目指した交流会を実施する。				○	◎		4 7 10 11 12 14 15 16 17
48	教育委員会事務局	高等学校教育課	あいちSTEM教育推進事業	H29	R2年度に新たに指定したあいちSTEMハイスクール研究指定校5校及びあいちSTEM教育力強化研究指定校4校による研究。 あいちSTEM能力育成事業、科学技術教育推進協議会、あいち科学の甲子園の実施。 あいちSTEM教育魅力発信事業(STEM教育出前講座、航空宇宙STEM教育講座)の実施。 ※知の探究講座、技の探究講座及び先端技術STEM講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	R2年度に指定したあいちSTEMハイスクール研究指定校5校及びあいちSTEM教育力強化研究指定校4校による研究。 あいちSTEM能力育成事業(知の探究講座:78名募集、科学技術教育推進協議会、あいち科学の甲子園)の実施。 あいちSTEM教育普及事業(IT・航空STEM教育講座、先端技術STEM講座)の実施。 ※技の探究講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	自然科学や情報技術等の特定分野に関心が高く、より深く学ぼうとする意欲のある生徒に対し、連携大学、企業等による先進的なSTEM教育を実施することにより、愛知の科学の発展を担う理工学系人材を育成する。			○	◎		○	4 7 9 12 15
49	教育委員会事務局	高等学校教育課	県立高等学校教育推進実施計画	H28	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図った。	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図る。	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図る。			○	◎			4 7 13 14 15 17

番号	担当		事業	開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
50	教育委員会事務局	高等学校教育課特別支援教育課	地域の未来を創る人材育成事業(道徳教育推進事業)	R2	県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を実践指定校に指定した。	県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を実践指定校に指定する。	実体験の乏しい現代の児童生徒に、いじめや集団生活におけるトラブルを自ら回避・解決する力を身に付けさせるために、道徳教育の実践やさまざまな体験活動、交流活動、地域貢献活動を行い、持続可能な地域社会の構築に向け、人間関係をつくる力やコミュニケーション能力を養うとともに、多様な人々の存在を尊重しながら自らを高め、社会に役立つことのできる人材を育成する。	○			○	◎	14 15
51	教育委員会事務局	高等学校教育課義務教育課特別支援教育課	公立学校初任者研修	H17	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を予定していたが、令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、中止した。	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。ただし、令和3年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、宿泊研修を中止し、その代替研修を実施する。	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	◎	○			○	4 17
52	教育委員会事務局	義務教育課	社会に開かれた教育課程推進事業	H30	推進校(小1校、中1校)において、社会に開かれた教育課程に向けての取組を計画・実践する予定であったが、令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、事業を中止した。	推進校(小1校、中1校)において、地域との連携及び協働等のキーワードにより、地域とともにある学校づくりに向けての取組を計画・実践する。	【事業】地域とともにある学校づくり推進事業「地域との連携及び協働」「分かったこと・できるようになったことを活用する」をキーワードとして、児童生徒が地域とのつながりの中で学び、地域をよりよく変えていけるという可能性を実感できる取組や、学校と地域が一層の活性化を図ることができるよう、児童生徒を中心に据え、地域とともに創意工夫のある取組を考え、実践する。	○			○	◎	4
53	教育委員会事務局	保健体育課	学校食育推進者養成講座	H17	-	継続実施	学校における食育推進の中核となる指導者を養成する。	○	◎				3
54	教育委員会事務局	総務課総合教育センター	県総合教育センター研修事業(海洋環境学習講座の実施)	H17、H20～	諸般の事情により、研修日が会場校の休業日となったため、研修中止	-	-	○	◎				14

4 学校における環境教育の促進(県)・・・本編P22

- ・自然とふれあう学習の促進
- ・低炭素社会、水、資源循環、エネルギーや廃棄物、買物や食に関する学習の促進
- ・多様な主体との連携・協働の促進
- ・学習施設等のネットワークの活用など

15事業

番号	担当		事業	開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
55	環境局	環境政策課	持続可能な未来のあいちの担い手育成事業	H27	大学生の養成:40名 成果発表会の開催:参加者161名 成果の発信:2回 地域環境活動の実践:コロナの影響により中止	大学生の養成:40名程度 成果発表会の開催 成果の発信:1回程度 イベント等への参加:1回程度	大学生を対象とした、環境面における人材育成プログラム「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」により、パートナー企業と連携して「環境リーダー」を養成するとともに、成果発表会を開催し、学生間・大学間のネットワーク化を図る。		○	◎	○	○	4 9 11 17
56	環境局	環境活動推進課	もりの体験教室の実施	H19	ツアー参加者:2,129名 あそび工房参加者:1,334名 その他行事:3,249名	継続実施	愛・地球博記念公園の「もりの学舎」でインタープリターによる自然体験学習プログラム「もりの体験教室」を実施する。	◎	○				4 15
			もりの学舎キッズクラブ等の運営	H20	Aコース39名、Bコース38名 参加延べ人数497名、各コース9回実施	継続実施	もりの学舎において、小学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施する。						
			インタープリタースキルアップ研修	H20	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。	研修回数:8回	もりの学舎のインタープリターのスキルアップを図る。						
57	環境局	環境活動推進課	インタープリター自然体感推進事業	H28	「もりの学舎ようちえん」の実施 期間:R2.5～R3.3、回数:10回開催 組数:29組、延べ参加組数:122組 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月は中止。	回数:各コース6回 組数:30組	未就学児童とその保護者を対象に、森の中での自然体感プログラムを四季を通じて実施する。	◎	○				4 15
					「一日もりの学舎ようちえん」の実施 園数:6園	園数:12園	保育園・幼稚園等の園児を「もりの学舎」に招き、様々な感覚を使った自然体感プログラムを実施する。						
					「森の伝道師派遣」の実施 園数:17園	園数:22園	保育園・幼稚園等の活動場所にインタープリターを派遣し、自然体感プログラムを実施する。						
					「子ども自然体感活動指導者養成研修」の実施 <幼稚園教諭等向け> 各コース3回開催 延べ参加人数 149名 参加者 くさばなコース:30名、 いきものコース:30名 <施設等職員向け> 2回開催 参加者 愛知こどもの国 7名、 弥富野鳥園 8名	<幼稚園教諭等向け> 各コース3回開催 定員数:くさばなコース20名、いきものコース20名 <施設職員等向け> 2回開催 定員数:各回20名	幼稚園教諭、保育士、施設職員を対象に、未就学児童に対する自然体験活動が効果的であることを伝え、自ら自然体感プログラムが実施できる人材を育成する研修を実施する。						
全6回 受講者20名	研修回数:6回 20～25名程度	未就学児童に対する自然体感事業の更なる拡充に対応するため、もりの学舎のインタープリターを新たに養成するための研修を実施する。											
58	環境局	環境活動推進課	環境学習副読本の作成・配布	H17	56,500部作成・配付	56,500部作成・配付	県内の小学校新4年生(名古屋を除く)を対象に、環境学習副読本を作成、配付する。		◎	○			4 6 13 14 15
59	環境局	環境活動推進課	高校生環境学習推進事業	H29	参加校:3校(参加生徒数:42名) 調査・研究の成果を、12月の調査研究発表会で発表。作成した教材の体験を小学校や図書館で実施。活動報告集の発行(R3.3発行)	参加校:3校	高校生が、環境問題に関する調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材等を作成するとともに、その教材等を活用・普及する。		○	◎			4 6 13 14 15
60	環境局	地球温暖化対策課	県民向け「ストップ温暖化教室」開催事業	H19	開催回数:1回	開催回数:10回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向け、県民を対象とした教室を開催する。		◎		○		4 7 13

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
61	環境局	地球温暖化対策課	小学生向け「ストップ温暖化教室」開催事業	H19	開催回数:小学校高学年向け63回 小学校中学年向け119回 放課後子ども教室9回	開催回数:小学校高学年向け130回 小学校中学年向け130回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止、エコライフの実施及び普及に向け、小学生を対象とした教室を開催する。		◎	○	○			4 7 13
62	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	三河湾環境学習会	H27	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	7月31日(土)開催	県立三谷水産高校実習船「愛知丸」に乗船し、三河湾の水質や底質を実際に調査することで、三河湾の現状や環境を学び三河湾の環境再生への関心を高める。	○	◎					6 14 15
63	環境局	自然環境課	野生生物保護実績発表大会	S46	令和2年9月22日(火)実施 愛知県内の小・中・高から11校の発表団体 参加人数はのべ234名 刈谷市産業振興センター(小ホール)にて開催 身近な環境保全の活動や研究の取組を発表	令和3年8月5日(木)実施 愛知県内の小・中・高、こどもエコクラブ等の団体が対象。 刈谷市産業振興センター(小ホール)	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、学び合う。		◎		○	○		14 15 17
64	環境局	自然環境課	愛鳥週間用ポスターの原画の募集	S46	県内参加校数:415校 県内応募総数:6,957点	継続実施	公益財団法人日本鳥類保護連盟が主催する「愛鳥週間用ポスター原画コンクール」に応募する作品を県内の児童及び生徒から募集する。	○	◎					14 15 17
65	経済産業局	産業科学技術課	実証研究エリア管理運営事業(次世代エネルギーパーク運営費)	H21	新エネルギー教室1回 26名参加	継続実施	実証研究エリアで、小中学生をはじめとした多くの県民に新エネルギーについて理解を深めるため、新エネルギー体験展示を常設する。	○	◎					7 9 11
66	農業水産局	水産課	少年少女水産教室	—	新型コロナウイルスの影響により中止。	継続実施	中学生を対象に海に関する知識の学習や漁業体験を行う少年少女水産教室を実施する。	◎	○					14
67	建設局	下水道課	メタウォーター下水道科学館あいちの運営	H12	来館者数:35,034人	【夏だ！ワクワク科学館祭り2021】 開催日:令和3年8月 【エッピョ祭2021】 開催日:令和3年12月	メタウォーター下水道科学館あいちにおいては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく水循環や水環境など学習の場を提供する。来館者に対して下水道の役割・機能のほか、水環境・水循環を含めた環境について考えるためのイベントを開催する。	○	◎	○	○	○		6 7 11 14
68	建設局	下水道課	下水処理場見学の受入	H17	見学者数:1,270人	継続実施	小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れる。		◎	○				6 11 14
69	建設局	河川課	「子どもの水辺」再発見プロジェクト	H17	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進した。	継続実施	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進する。	◎	○					4

5 事業者における社内外に向けた環境学習等の促進・・・P28

- ・環境学習等を行う事業者への支援(情報収集・提供など)
- ・表彰や社会・環境への配慮の観点からの優遇措置等を通じた、優れた技術開発や活動等の支援
- ・環境マネジメントシステム等に関する情報提供と運用の支援
- ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供
- ・優れた取組事例の共有の促進

2事業

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
70	農業水産局	水産課	水産多面的機能発揮対策事業	H28	水産物の提供、環境の保全、交流の場の提供など、水産多面的機能を発揮するための漁場保全活動及びその理解につながる教育学習会の開催など、漁業者等が行う取組を支援した。 (令和3年3月31日現在 教育学習会実施回数12回、受講者数859名)	教育学習会の実施回数8回	水産物の提供、環境の保全、交流の場の提供など、水産多面的機能を発揮するための漁場保全活動及びその理解につながる教育学習会の開催など、漁業者等が行う取組を支援する。	○	◎			○		14
71	農林基盤局	林務課	林業普及指導事業	H17	—	継続実施	森林づくりグループ等の要望を受けて、林業普及指導員が必要な技術指導を実施する。				◎	○		13 15

6 NPO等のポテンシャルを活かした環境学習等の促進・・・P29

- ・環境学習等を行うNPO等への支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など)
- ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供
- ・優れた取組事例の共有の促進

3事業

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
72	県民文化局	社会活動推進課	あいち協働ルールブック2004に基づく「NPOと行政の協働に関する実務者会議」の開催	H16	実務者会議の開催 3回 第三回R2.11.6 16名出席 第四回R3.1.21 10名出席 第五回R3.3.24 13名出席	NPOと大学・企業など多様な主体との協働に向けた検討会議の開催 3回予定	NPOと多様な主体との連携・協働の促進に向け、有識者による協議・検討を行う「NPOと大学・企業など多様な主体との協働に向けた検討会議」を開催する。					○	◎	17
73	県民文化局	社会活動推進課	NPOと行政のテーマ別意見交換会の開催	H16	NPOとのテーマ別意見交換会の開催 1回 R2.12.24 12名出席	NPOとのテーマ別意見交換会の開催 1回 予定	よりよい協働促進と地域課題の解決に向けて、テーマ別にNPOと行政、双方の実務者が、意見交換を通じて課題意識の共有を図るとともに、課題解決のための役割分担や協力のあり方を探ることを目的として、意見交換会を開催する。				○		◎	17
74	農業水産局	食育消費流通課	地域での食育の推進事業費補助金	H29	・事業実施主体:6団体 ・補助率:1/2以内	・事業実施主体:8団体 ・補助率:1/2以内	地域の関係者が連携して取り組む地域食文化の継承や農業体験実施などの活動に対して助成を行う。	◎	○					4

7 地域コミュニティのネットワークを活かした環境学習等の促進・・・P31													
<ul style="list-style-type: none"> 環境学習等を行う地域コミュニティへの支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など) 主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供 優れた取組事例の共有の促進 										2事業			
番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
75	環境局	環境活動推進課	子どもエコクラブ支援	H17	壁新聞応募数:1件 絵日記応募数:18件	継続実施	県内の子どもエコクラブから応募される壁新聞・絵日記の選定を行う。また、環境イベント等の情報を県内の子どもエコクラブへ提供する。			◎	○		4 6 13 14 15
76	建設局	河川課	水辺の緑の回廊整備事業	H19	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施した。	継続実施	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施する。	○				◎	11

8 地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり・・・P31														
<ul style="list-style-type: none"> 環境課題やその解決のためにできることについての情報発信 身近にある場や機会を活かした環境学習等の促進 										7事業				
番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
77	政策企画局	企画課	伊勢湾総合対策協議会	S45	(主な活動内容) ①政策提言活動、NPOの取組支援:提言1回 支援申請なしにより未実施 ②海岸漂着物対策検討会の開催:啓発物品の製作 ③環境問題研究会の開催:コロナで中止	①政策提言活動:1回以上 NPOの取組支援:申請があった場合実施 ②現地研修会の実施、啓発物品の製作 ③研修会の実施	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的に、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市が連携協力し、広域的な調査研究や啓発活動を行った。(個別の事業は各部署が担当)。(主な活動内容) ①政策提言活動、NPOの取組支援 ②海岸漂着物対策検討会の開催 ③環境問題研究会の開催			◎	○		14	
78	環境局	自然環境課	探鳥会・観察指導	H17	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察した。	継続実施	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察する。	◎					15	
79	環境局	自然環境課	全国・自然歩道を歩こう大会	H17	-	継続実施	環境省の主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」(毎年10月)に合わせて、昭和57年から各市町村にも呼びかけ、東海自然歩道で自然とふれあえるイベントを開催する。	◎					15	
80	環境局	自然環境課	あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会	H29	令和3年2月27日にウインクあいちにて実施 モニタリング調査の成果発表等	継続実施	あいち生物多様性戦略2020に基づき設立された9つの生態系ネットワーク協議会の関係者等が一堂に会し、相互交流を通じて活動のさらなる活性化を目指す交流会を実施する。				○	○	◎	14 15 17
81	農林基盤局	林務課	「県有林野の利活用」事業の実施	H17	-	継続実施	地方公共団体やNPO等の団体に対し、県有林のうち一部を活動区域として設定し、森林・林業体験などの学習活動を通して、県有林野の利活用や森林整備の促進を図る。		○		◎		13 15	
82	農林基盤局	林務課	県有林における「企業の森づくり」事業の実施	H18	-	継続実施	県内の約3,000ヘクタールの県有林を対象とし、企業が社会貢献活動として行う森林整備を県有林で受け入れる事業を実施する。		○		◎		13 15	
83	建設局	水資源課	「全日本中学生水の作文コンクール」の実施	S54	応募総数15編	継続実施	「水の日・水の週間」の啓発活動の一環として、中学生を対象に水循環政策本部、国及び本県が実施しているコンクールで、県においても優秀作品を選出し、表彰する。	○	◎				4 6 14 15	

9 事業者としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施・・・P32													
<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムの導入や職員への環境学習の実施 										7事業			
番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
84	人事局 環境局	自治研修所 環境活動推進課	研修所研修	H17	新規採用職員研修(中期) 科目:あいちエコマネジメント 講師:なし(自主学習) 研修日:- 受講者数:424名	受講者数:約400名	新規採用職員を対象にあいちエコマネジメントに関する講義を行い、職員の環境保全に対する理解を深める。		◎		○		12 13
85	人事局 環境局	自治研修所 環境活動推進課	研修所研修	H30	課長級トップセミナー 科目:あいちエコマネジメント 講師:環境活動推進課職員(資料配付) 研修日:8/25(火) 受講者数:161名	研修日:8月以降 受講者数:約200名	課長級職員を対象にあいちエコマネジメントに関する資料配布を行う。管理的職員の環境保全に対する意識向上を図る。		◎		○		12 13
86	環境局	環境政策課	環境局新任職員研修	H14以前	環境局職員研修の実施:1回	環境局新任職員研修の実施:1回	新規採用職員や新たに環境局へ配属された職員等に対して、本県における環境行政に対する理解を深めるための研修を実施する。		◎		○		4
87	環境局	環境政策課	市町村職員等環境基礎研修	H14以前	市町村職員等環境基礎研修:資料配付 環境保全業務基礎ハンドブック:400冊	市町村職員等環境基礎研修:2日間1回 環境保全業務基礎ハンドブック:200冊	市町村職員等に対して、各種公害等に対応した環境関係法令及び条例の規制内容等を整理した「環境保全業務基礎ハンドブック」を配布する。なお、研修は対面及びオンライン開催とする。		◎		○		4
88	環境局	環境活動推進課	エコアクション21認証取得講習会	H22	研修回数:4回 参加事業者数:13事業者	研修回数:4回 参加事業者数:20事業者	エコアクション21の認証取得を目指す事業者向けに取得のための具体的取組についてアドバイスするため、エコアクション21地域事務局による研修会を支援する。		○	○	◎		12
89	環境局	環境活動推進課	環境管理推進員研修会	H17	対象者(環境管理推進員571人)への資料配付	書面開催 研修受講者数:約600名	本県独自の環境マネジメントシステムである「あいちエコマネジメント」に基づき職員研修等を実施し、本県の行う全ての事務事業における環境負荷低減のための取組を推進する。		○		◎		12 13

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
90	環境局	地球温暖化対策課	ZEB普及講習会の開催	R1	開催回数:2回	—	—	○	◎				3 4 7 11 12 13
10 環境学習等を行う各主体への支援・・・P32													
<ul style="list-style-type: none"> ・教材やプログラムなどの提供・貸与、資材などの支援 ・環境学習等の機会についての情報提供 ・環境学習等を必要としている者と、提供できる者とをつなぐ取組の実施 ・優れた取組の発掘・発信 ・行政情報の環境学習等への活用 												6事業	
番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
91	環境局	企画情報部	中高年・シニア環境学習推進事業費	H30	講座回数:34回	講座回数:20回	平成30年度に県が養成した中高年・シニア世代の環境学習講師(あいちecoティチャー)を小学校や環境学習施設等に派遣し、小学生等に対し環境学習講座を行う。	○	○	○	○	◎	4 6 12 13 14 17
92	環境局	地球温暖化対策課	地球温暖化防止活動推進員の研修	H16	開催回数:1回	開催回数:3回	新規の推進員に対して、県の取組や施策、推進員の活動内容等の研修を行う。		◎	○	○		4 7 13
93	環境局	資源循環推進課	愛知環境賞	H18	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進した。 【応募:40件、表彰:15件】	【応募:40件以上】	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進する。			○	◎	○	4 7 9 11 12 13
94	環境局	資源循環推進課	あいち環境塾	H20	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生同士の討論などを実施した。また、卒業生による地域での実践活動の支援等を行った。 【塾生12名、修了11名】	【塾生20名】	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生同士の討論などを実施する。また、卒業生による地域での実践活動の支援等を行う。		○	○	◎		4 7 9 11 12 13
95	保健医療局	健康対策課	食生活改善推進員の再教育	H17	研修会(実施回数5回 受講者数150名)の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	回数 5回	住民参加型の地域ボランティアである食生活改善推進員の活動を支援するための研修会を開催する。		○		◎		3 4
96	農業水産局	食育消費流通課	食育推進ボランティアの登録・活動支援	H17	・ボランティア研修交流会開催:7か所	・ボランティア研修交流会開催:7か所	食生活の改善、料理教室や農業・漁業体験など食育に関する様々な推進活動を行うボランティアの登録や活動支援を行う。				◎		4
11 県内全域を対象とした環境学習等の推進のための環境づくり・・・P33													
<ul style="list-style-type: none"> ・県内全域を対象とした環境学習等に関する計画等の策定及び推進 ・県内環境学習施設等の連携の充実 ・コーディネート機能の充実など、連携・協働を促進するための環境づくり 												11事業	
番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
97	政策企画局	企画課	SDGs未来都市計画推進費	R1	○中学生向けSDGsパンフレットの作成:75,000部(R2.11配布) ○SDGsに関するWebページの作成(R3.3公開)	①配布対象:県内企業等 作成部数:5,000部 ②県内各地:20回 ③県内2箇所、定員各40名	①SDGsに取り組む企業等の先進・優良取組事例集を作成する。大学生が取材し執筆することで、若者の理解向上にもつなげる。 ②企業の取組を促進するため、個別セミナーを実施する。 ③高校生・中学生へのSDGsの普及につなげるため、高校・中学校の教員を対象としたワークショップを開催する。	○	◎	○	○	○	1~17
98	環境局	環境活動推進課	愛知県環境教育等推進協議会の開催	H24	協議会開催数:1回	開催数:2回	環境学習等行動計画2030に基づき、環境学習等をより効果的に進めるための取組を進める。	○	○	○	○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
99	環境局	環境活動推進課	環境学習等行動計画2030の普及・定着	H30	実践事例集の活用	開催数:1回	市町村職員を対象として、環境学習等行動計画2030の普及に向けた研修会を開催する。	○	○	○	◎		4 6 7 11 12 13 14 15 17
100	環境局	企画情報部	環境学習コーディネーターの設置	H25	相談件数:6件 コーディネート件数:5件	相談件数:10件以上 コーディネート件数:10件以上	事業者、NPO、行政、学校等が連携・協働して環境学習に取り組めるよう、各主体の調整や相談等の業務を行うコーディネーターをあいち環境学習プラザに設置する。				○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
101	環境局	環境活動推進課	「学びを行動につなぐサポートBOOK」の活用	H28	研修回数:1回 参加者数:13名	研修回数:1回 参加者数:20名(予定)	「学びを行動につなぐサポートBOOK」を活用し、連携・協働を促進するための研修を実施する。また、学校が連携・協働による授業を行いやすいよう、Webページ「環境教育 あいち協働授業づくり」を充実させる。				○	◎	4
102	環境局	環境活動推進課	環境月間行事の開催	S48	日にち:6月7日(金) 場所:県庁本庁舎(正庁) 対象者:3団体、23名	1団体・39名(式は中止)	県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった個人・団体について、その功績をたたえるため、知事による表彰を行う。				○	◎	6 7 13 14 15
103	環境局	環境活動推進課	愛知県環境学習施設等連絡協議会	H18	構成員施設等:184施設等、38市町村 協議会開催回数:2回	協議会開催回数:2回	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、平成19年度に愛知県環境学習施設等連絡協議会を設置し、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化する。					◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
104	環境局	環境活動推進課 自然環境課	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業	H21	交付対象事業件数:104件 (環境活動・学習推進事業交付金 96件) (生態系ネットワーク形成事業交付金 8件)	交付対象事業件数:115件 (環境活動・学習推進事業交付金 109件) (生態系ネットワーク形成事業交付金 6件)	あいち森と緑づくり税を財源に、NPO等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、団体等に対し活動に必要な情報やノウハウを身につけるための講習会を実施する。また、生態系ネットワークを形成するため、ピオトープの創出や維持、向上に資する事業を支援する。	○	○	○	◎	○	13 14 15 17

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
105	環境局	地球温暖化対策課	あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)への登録及びスキルアップセミナーの開催	H30	登録数:34件 (個人29件団体5件)	継続実施	県民、学校、地域団体、市町村等の自主的な地球温暖化対策活動を支援するため、地球温暖化対策について知見をもった人材及び、地球温暖化対策についての環境学習を提供する事業者等を発掘し、「温暖化まなびネット」に登録して公開する。 また、温暖化まなびネットに登録した人材に対しセミナーを行い、講義や啓発のスキルを向上させることで、各主体が行う環境学習での学習効果の向上を図る。		○				◎	3 4 6 7 11 12 13 14 15
106	農林基盤局	農地計画課	農業農村整備事業の必要性・効果のPR活動	H14	各農林水産事務所での啓発活動 件数:18件 参加者数:約1万9千人	各農林水産事務所での啓発活動 件数:24件 参加者数:約2万5千人	農業農村整備事業の必要性や、農地や農業水利施設が有する多面的機能などについて県民の理解を促進するため、小学生を対象とした排水機場の見学会や、羽布ダムの周辺を散策するウォークラリー等のイベントを開催し、パンフレットや啓発グッズの配布、パネルの展示等を実施する。	○	◎					15
107	農林基盤局	農地計画課	農業農村多面的機能支払事業(推進事業費)	H20	開催日:令和2年10月24日(土) 参加者数:約100人	開催日:令和3年11月23日(火・祝) 参加者数:約500人	愛知県における、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰する。「農地・水・環境のつどい」		○				◎	15

12 環境、環境学習等に関する情報の収集・提供・・・P34


・環境、環境学習、各主体の活動等に関する情報の収集・提供

12事業

番号	担当		事業	.開始年度	R2事業実績	R3事業予定	R3事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
108	環境局	環境政策課	環境白書・愛知の環境のあらましの作成	S46	環境白書の作成:1,000部 愛知の環境のあらましの作成:1,500部	環境白書の作成:900部 愛知の環境のあらましの作成:1,200部	愛知県の環境の状況及び環境保全施策をまとめた「環境白書」とその概要版である「愛知の環境のあらまし」を作成、配布するとともに、ウェブサイトでも公表し、県民に周知する。		◎	○				4
109	環境局	環境政策課	環境分野における企業の社会貢献活動ウェブサイト	H22	—	継続実施	県内企業が実際に取り組んでいる環境分野の社会貢献活動の実例を幅広く紹介する。				◎	○		9 12
110	環境局	環境活動推進課 資源循環推進課	庁舎周辺の清掃活動	H17	清掃活動回数:1回(9月)	清掃活動回数:2回(6月、9月)	定期的に職員ボランティアによる県庁周辺の清掃活動を実施する。	○	○				◎	12 17
111	環境局	自然環境課	レッドデータブックあいち2020等による情報提供	H21	レッドデータブックあいち2020(第3次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2020について冊子やインターネットで情報提供を行った。	継続実施	レッドデータブックあいち2020(第3次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2020について、冊子やインターネットで情報提供を行う。		◎	○				15
112	環境局	自然環境課	外来種に関する情報提供	H23	Webページ「STOP!あいちの外来種」による情報提供を行うとともに、最新の外来種情報をとりまとめた「ブルーデータブックあいち2021」を作成した。	継続実施	Webページ「STOP!あいちの外来種」や「ブルーデータブックあいち2021」を活用し、情報提供を行う。		◎	○				15
113	環境局	自然環境課	生物多様性あいち学生プロジェクト	R1	県内ユースによる生物多様性保全に係る活動・情報発信を実施。 年間16回 参加者延べ94名	継続実施	県内ユースによる生物多様性保全に係る活動・情報発信を実施する。	◎	○	○	○	○		4 12 14 15 17
114	環境局	自然環境課	みんなで調べよう!あいちの生物多様性モニタリングハンドブックによる情報提供	H30	モニタリング調査に際して、冊子やインターネットで情報提供を行った。	継続実施	生物多様性モニタリング調査に際して、冊子やインターネットで情報提供を行う。		◎	○				14 15 17
115	経済産業局	産業科学技術課	新エネルギー関連産業育成事業	H22	セミナー等4回 のべ594名参加(うち454名はアーカイブでのオンライン視聴)	セミナー等5回	新エネルギー関連分野における技術課題等の解決および事業化の可能性を探る研究会活動の推進やセミナー等を行う。			○	◎			7 9 11
116	経済産業局	産業科学技術課	次世代自動車インフラ整備推進事業(FCV・水素エネルギー普及促進事業)	H26	専門講座1回 33名参加	専門講座1回	将来の本県の産業技術を支える若手を育成するため、県内の工業高校生を対象に、燃料電池自動車(FCV)や燃料電池技術に関する専門講座を行う。	◎	○			○		7 9 11
117	農業水産局	農業振興課	交流ネットワーク推進事業	H17	都市農村交流ガイド等による情報提供 Webサイト閲覧数 283,144	都市農村交流ガイド等による情報提供	あいちの都市・農村交流ガイドにより、地域資源及び地域資源を巡るモデルルートなど、自然とのふれあい等を促進できる情報を提供する。	◎	○					11
118	都市・交通局	公園緑地課	県民参加緑づくりの支援【あいち森と緑づくり事業】	H21	以下の県民参加事業に対し支援を行った。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業 124件	継続実施	以下の県民参加事業に対し支援を行う。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業	◎	○			○		11 15
119	教育委員会事務局	生涯学習課	生涯学習情報システム「学びネットあいち」の運営	H14	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供した。 また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供した。	継続実施	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供する。 また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供する。		◎	○				4

持続可能な開発目標【SDGs】		事業数
 1 貧困をなくそう	貧困をなくそう / NO POVERTY	2
 2 飢餓をゼロに	飢餓をゼロに / ZERO HUNGER	3
 3 すべての人に健康と福祉を	すべての人に健康と福祉を / GOOD HEALTH AND WELL-BEING	10
 4 質の高い教育をみんなに	質の高い教育をみんなに / QUALITY EDUCATION	56
 5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を実現しよう / GENDER EQUALITY	2
 6 安全な水とトイレを世界中に	安全な水とトイレを世界中に / CLEAN WATER AND SANITATION	31

 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	エネルギーをみんなにそしてクリーンに / AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	36
 8 働きがいも経済成長も	働きがいも経済成長も / DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH	3
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	産業と技術革新の基盤をつくろう / INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE	17
 10 人や国の不平等をなくそう	人や国の不平等をなくそう / REDUCED INEQUALITIES	3
 11 住み続けられるまちづくりを	住み続けられるまちづくりを / SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	38
 12 つくる責任 つかう責任	つくる責任 つかう責任 / RESPONSIBLE PRODUCTION AND CONSUMPTION	39

 13 気候変動に具体的な対策を	気候変動に具体的な対策を / CLIMATE ACTION	46
 14 海の豊かさを守ろう	海の豊かさを守ろう / LIFE BELOW WATER	47
 15 陸の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう / LIFE ON LAND	59
 16 平和と公正をすべての人に	平和と公正をすべての人に / PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS	3
 17 パートナーシップで目標を達成しよう	パートナーシップで目標を達成しよう / PARTNERSHIPS FOR THE GOALS	31
		426